

解説	<入職管理>(精神・高齢共通) 目的:施設に職員が入職する際、事前に説明を行い、入職当日に、スムーズに業務に入れるようにする為。 業務手順:①総務より入職予定の連絡を受ける。 :②備品(下駄箱・ロッカー・制服)を振り分ける。 :③入職予定者へ備品(下駄箱・ロッカー・制服・ネームカード)説明。 :④病院であれば、カードキー登録をする。 :④入職予定者へ備品使用に関しての誓約書記入・提出してもらう。 ※必要誓約書(制服借用書、ロッカー使用申請書、鍵使用誓約書、ネームカード使用方法の誓約書) 注意事項:もし、ネームカード紛失したり、ロッカーを破損したなどで、弁償等が生じたとき、誓約書にて署名したものが、証拠となるので、誓約書は必ず記入してもらう。 <勤務表管理>(精神のみ) 目的:職員の勤務希望(年休)や研修等の予定が入っているものを反映させ、施設基準にも対応したシフトを組む必要がある。 業務手順:①勤務表作成スケジュールをガバナーコントロールへ連絡。 :②総務Tへ人事異動・入職、退職予定・長期欠勤者確認。 :③作成 :④提出 :⑤掲示 注意事項:夜勤帯に看護職員数を定数以上配置するように作成する。 ◎精神科急性期治療病棟 準夜帯 2名以上、深夜帯2名以上 ◎精神科療養病棟 準夜帯 1名以上、深夜帯1名以上 ◎老人性認知症疾患治療病棟 準夜帯 1名以上 深夜帯 1名以上 備考:看護基準 ◎精神科急性期治療病棟(52床)に対し、看護職員18:1以上、看護補助職員18:1以上 ◎精神科療養病棟(北35床+西52床=87床)に対し、看護職員30:1以上、看護補助30:1以上 ◎老人性認知症疾患治療病棟(60床)に対し、看護職員20:1以上、看護補助25:1以上 【配置数計算方法例】 精神科急性期治療病棟 患者数 52床 ÷ 看護職員数 18 × 勤務帯数 3=必要看護職員配置数 8.6/日 南山苑勤務体制 ◎2F夜勤体制 3名 ◎3F夜勤体制 2名 看護職1名 例題 看護基準で青南病院南病棟は、1日何人の看護職員が必要か。 解答 患者数 60床÷看護職員数 20 × 勤務帯数3=9人 1日9人看護職員が必要
-----------	--

例題	入職時に記名・捺印してもらう誓約書にはどのようなものがあるか。
解答	①制服借用書②ロッカー使用申請書③鍵使用誓約書④ネームカード使用方法の誓約書
例題	勤務表を作成する際、青南病院東病棟の深夜帯は看護何人、看護補助何人が好まし
解答	看護 2名、看護補助 1名